

入居企業紹介 その229

SICに入居されている企業様をご紹介します。

『 お客様の課題解決をデジタルマーケティングでサポートする!! 』



【DIO会員プロフィール】

カスタマーワン株式会社
代表取締役 江成 太一(えなり たいいつ)

江成さんは相模原出身で、現在は東京都大田区在住です。小学生のころは地元のスイミングスクールに通い、中学校では水泳部に入学し、バタフライで1,500mという過酷な距離に挑戦しました。高校では一転、フェンシング部に入学。選んだ種目は胴体のみが有効面で、突き技のみが認められ、攻撃権による駆け引きが特徴で戦術性の高い“フルール”だったとのこと。二人の娘さん(現在、大学1年生と高校3年生)が幼いころには国内外で家族旅行を楽しんでいました。多忙な日々の中、最近では奥様と一緒に始めたオンラインヨガで汗をかきながらマインドフルネスを楽しんでいる江成さんです。

【デジタルマーケティング畑での経験と起業】

大学在学中だった1990年代前半、1年間のコミュニティカレッジでアメリカのシアトルに渡りました。そこで当時、マイクロソフトのプログラマーと出会い、初めてインターネットについて教えてもらいました。リアルタイムに、また物理的な距離に制約されずに情報が瞬時につながる世界に触れたのは、まだインターネットは黎明期であった頃で、江成さんもパソコンは持っていましたが、大きな衝撃を受けたとのこと。大学を卒業して大手総合電機メーカー入社したのは1994年。インターネット活用にまだ一部の企業しか取り組んでいなかった頃に、自ら手を挙げて日本と海外のWebサイトの戦略立案や運営を管理する部署に異動しました。その後、一貫してWebマーケティングの業務に従事。大手自動車メーカーでは北米向け高級車の販売促進や、得意の英語を活かしてデジタルマーケティングの海外展開に関するプロジェクトにも関わりました。その後、製薬会社では、顧客管理システムの開発や運用の効率化のための業務を担当しました。生成AIが

各分野で急速に普及しつつある昨今、江成さんがこれまでに培った知識や経験を多方面で活かしたいという思いが強まり、生まれ育った相模原での創業を決意し、2025年7月にDesk10に入会しました。

【カスタマーワンの事業内容】

カスタマーワンは企業の顧客開拓をWebマーケティングで支援します。自社で製品を開発、製造している企業は「商品に自信はあるが、価値が伝えられていない」といった不安を抱えているケースが少なくない、江成さんのこれまでの経験から強く感じています。商談に至る前段階である“リード(見込み客)”の創出こそがマーケティング活動における最重要ポイントであり、まずはお客様を十分に理解することが必須です。さらにその商品やサービスがどのような価値を享受してくれるのかを、端的に、効率的に伝達していくのですが、他の手段と比較して、Webマーケティングはコスト合理化や販促効果でも期待できます。また、2022年のChatGPTの登場以降、購入を検討している顧客が生成AIで商品について調べるようになりました。重要なポイントは生成AIに自社の製品「選ばれる」ことで、カスタマーワンは顧客に適切に紹介されるためのコンサルティングも行っています。



購入検討は、「検索」から「生成AI検索」へ

【これからの目標】

社名の“カスタマーワン”には、顧客を大切にしている企業に丁寧に向き合うという思いを込めました。事業はまだ始まったばかりですが、地元相模原で協業したり、切磋琢磨できるパートナーを積極的に探していきたいと考えています。リニア中央新幹線の開業に向けて地域のまちづくりが進む中で、カスタマーワンも地域の発展に貢献できる企業に成長していきます。

カスタマーワン株式会社

Desk10会員

<https://www.customerone.co.jp>

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。

CustomerOne

入居企業トピックス

8月の新聞掲載記事紹介(8月26日時点)

メディアに紹介された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。
またメディアに掲載された場合、スタッフに教えていただくと幸いです。

- 7月1日 株式会社食機能探索研究所BABILON FOOD STYLE21
—脂質栄養におけるリテラシー向上の試み—
- 7月31日 株式会社F-Desgin タウンニュースさがみはら緑区版
—相模原をロボットのまちに—
- 8月15日 株式会社シルクリ技研 神奈川新聞
—ビジネススウェーブ セルフメディケーションをスマホで簡単に—

施設からのお知らせ

・降雨時のお願い

降雨時に、建物内に風雨が入り込むことがあります。

①席を立つ際は、開いている窓は閉めてください。

防犯の観点からもご協力をお願いします。

②特に風雨が強い日は、雨水が床に漏ることがあります。

その際は調査を行うため、SICスタッフにお知らせください。

・災害対策へのお願い



万が一に備えてSICからの改めでのお願い
とお知らせです。

●地震発生時や停電時はエレベーターが
利用できません。屋内の階段・非常階段を
使い、避難してください。※エレベーター内
のエレベーターチェアには、非常用のトイレ・
食料・サイリウムが入っています。

●各企業様は万が一の備えとして、社員の方用に3日分の水や食料、防寒シート、簡易トイレの備蓄をお願いします。

●SIC-1にはAED、SIC-2には担架・車いすを備えています。

子どもアントレご協賛 ありがとうございました。



8月5日・8日～10日に開催した「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」は、48名の小学生が参加し無事終了しました。多くの皆様からご協力、ご協賛いただきましたこと、あらためて御礼申し上げます。

令和7年度相模原市トライアル発注認定制度に 入居企業が認定されました！

入居企業の株式会社DONKEY社「小型運搬支援ロボットCP200」と、株式会社キャロットシステムズ社「紛失防止ICタグ(CT-10/CT-20/CT-30/CT-40)」が相模原市トライアル発注制度に認定されました。おめでとうございます！



編集後記

世界基準のブランド化や流行には万国博覧会は欠かせず、100年前のパリ万博では当時流行した装飾様式が各国で展示され、日本の工芸品に影響を与えたそうです。江成さんが先駆けて触れたインターネットは1970年の大阪万博で前身となる技術が展示されたとか。2025年の大阪万博ではどの先端技術が世界中に発信されるのか楽しみです。(佐藤)

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp

Knock!
Knock!

SIC空室情報 (令和7年9月1日現在) ※お気軽に稲垣・大谷までお問合せください

部屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab. ○スモールオフィスA(23.6㎡)	2	86,570円
○スモールオフィスB(17.3㎡)	2	70,620円

最新の情報はHPをご確認ください。

セミナーのお知らせ

実践形式で学ぶ！これから始める中小企業のための サイバーセキュリティ集合研修

- 【日時】 第1回10月2日(木)13:30-16:30【診断結果の確認～リスクの見える化】
第2回10月23日(木)13:30-16:30【リスク対応計画の作成と定着施策】
- 【対象】 中小企業
- 【会場】 SIC-2 会議室A
- 【定員】 先着6名(1社2名まで) ※9月4日開催のサイバーセキュリティ対策入門セミナーに参加された方を優先します。
- 【参加費】 無料
- 【講師】 小川直樹氏
(一般社団法人首都圏産業活性化協会 中小企業診断士/ITコーディネータ)
- 【お問合せ】 清水(内線:2022)
- 【詳細】

中小企業のためのDX勉強会～生成AIの活用～

- 【日時】 10月10日(金) 14:30～17:00
- 【会場】 SIC-2 会議室A
- 【定員】 15名
- 【内容】 ・生成AI入門
・「ChatGPT」の基本的な利用方法の演習
・「ChatGPT」を用いた自社紹介リーフレット作成演習
- 【参加費】 無料
- 【講師】 小野田 崇氏 (青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授)
- 【お問合せ】 金澤(内線:2023)
- 【詳細】

ものづくり企業のための自動化・ロボット活用講座

- 【日時】 令和7年9月26日(金)～12月16日(火)(全5回)
- 【会場】 サン・エールさがみはら、さがみはら産業創造センター他
- 【定員】 8社(1社2名まで)
- 【内容】 製造業の自動化に求められる“発想力”、“実践力”、“現場力”を
実践を通じて磨きます。
- 【参加費】 相模原市内企業:税込55,000円/1社(市外企業:税込82,500円/1社)
- 【主催】 相模原市【運営】さがみはらロボット導入支援センター
- 【お問合せ】 樽川(内線:2021)
- 【詳細】